

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
グローバル マネジメント学部	グローバル マネジメント学科	夜・通信	5	10	89	104	13		
健康発達学部	食健康学科	夜・通信		6		35	46	13	
	こども学科	夜・通信				41	52	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.u-nagano.ac.jp/media/2020_jitsumuka-kyoin.pdf">https://www.u-nagano.ac.jp/media/2020_jitsumuka-kyoin.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
-----

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/directors/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
理事長（常勤）	株式会社役員	H30.4.1 ~ R4.3.31	法人を代表し、法人業務の総理
副理事長（常勤）	私立大学教授	H30.4.1 ~ R6.3.31	教学代表
専務理事（常勤）	県職員	R2.4.1 ~ R4.3.31	経営
理事（常勤）	公立大学法人教授	R2.4.1 ~ R4.3.31	教学
理事（非常勤）	国立大学法人教授	R2.4.1 ~ R4.3.31	経営
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野県立大学
設置者名	公立大学法人長野県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の内容</p> <p>◀授業の概要▶</p> <p>◀授業目標(ねらい・到達目標)▶</p> <p>◀教授方法▶</p> <p>◀履修条件▶</p> <p>◀授業計画▶</p> <p>◀共通の評価基準▶</p> <p>◀成績評価方法と基準▶</p> <p>◀授業外における学習(事前・事後学習等)▶</p> <p>◀質問や相談への対応▶</p> <p>◀教科書・テキスト▶</p> <p>◀参考書・参考資料等▶</p> <p>◀受講生に望むこと▶</p> <p>◀その他・特記事項▶</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学務課が全教員にシラバス作成を依頼</li> <li>・全教員が学務課にシラバスを提出</li> <li>・シラバス完成</li> </ul> <p>授業計画の作成・公表時期</p> <p>作成時期：1月～3月</p> <p>公表時期：4月</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="https://portal.unagano.ac.jp/mfufg_s2/view/Syllabus12400.xhtml">https://portal.unagano.ac.jp/mfufg_s2/view/Syllabus12400.xhtml</a></p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

履修案内・学生便覧に、成績評価の基準について示し、履修登録を行った全ての授業について、一定の基準により成績を評価します。

評語	略記号	評点	GP
秀	S	90~100	4
優	A	80~89	3
良	B	70~79	2
可	C	60~69	1
不可	F	0~59	0

(また、卒業要件単位及び進級要件も示し、厳格かつ適正に履修認定し単位授与しています。)

CAP制(履修科目の登録の上限)について、単位の過剰登録を防ぐため、1年間に履修登録できる単位の上限を設けています。各学科の上限は、それぞれ以下のとおりです。

	1年間に履修登録できる単位の上限
グローバルマネジメント学科	45単位
食健康学科	48単位
こども学科	45単位

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修案内・学生便覧に示し、GPA制度について、本学では、GPA(Grade Point Average)制度を導入し、成績評価を明確にしています。GPAの算出は、以下の算式のとおりです。

$$GPA = \frac{\text{(履修した科目の単位数} \times \text{その科目のGP) の合計}}{\text{履修登録単位数の合計}}$$

客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://www.u-nagano.ac.jp/media/GPA_CAP.pdf">https://www.u-nagano.ac.jp/media/GPA_CAP.pdf</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	



(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

**【共通】**

グローバルな英知、多様な価値観や異文化を理解し、交流するための教養と発信する能力

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、自律的に目標を掲げ、協働して実現するためのリーダーシップと実現の道筋を論理的に見極める能力

未来を切り拓き、グローバルにチャレンジできるための専門的知識とたくましく生きる能力

グローバルな視点から、現代社会の多様な課題に対して論理的に思考する能力

**【グローバル・ビジネスコース】**

企業経営の諸課題を的確に把握する専門知識を持ち、その課題解決のためにマネジメントする能力

**【企（起）業家コース】**

社会や地域について問題意識を持ち、新たな事業機会を発見し、事業創造を企画する能力

**【公共経営コース】**

地域社会の諸課題を的確に把握するための公共経営に関する専門的知識を持ち、その課題解決のため企画立案する能力

健康発達学部食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・専門的知識と技術を身につけ、論理的・科学的に考察する力
- ・人との関わりを大切にし、食を通して人々の健康を支える力
- ・生涯にわたり、主体的な学びを継続する力
- ・食文化や食習慣について探究できるグローバルな視野を持ちつつ、地域において食を通じた健康に関する活動を実践する力
- ・管理栄養士としての倫理観に則り、ミッションを達成できる力

健康発達学部こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・健やかにこどもが育つための課題を明らかにし、子育てや保育について探究できるグローバルな視野を持ちながら、地域や社会の特性を活かした保育を創造する専

<p>門的知識と支援力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育や教育の場でこどもと保護者を支え、より良い子育て・子育環境を創造する論理・実践力</li> <li>・乳幼児期のこどもの特性を理解し、豊かな表現力と感受性をもって乳幼児にふさわしい保育・教育を総合的に計画・展開する力</li> <li>・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、表現力、コミュニケーション力などの汎用的能力</li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/diploma/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/diploma/</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/</a>
財産目録	該当なし
事業報告書	<a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/management/financial/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/evaluation/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/evaluation/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法：

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 グローバルマネジメント学部・健康発達学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/idea/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/idea/</a> ）
<p>(概要)</p> <p>長野県立大学の理念</p> <p>長野県立大学は、長野県の知の礎となり、未来を切り拓くリーダーを輩出し、世界の持続的発展を可能にする研究成果を発信することで、人類のより良い未来を創造し、発展させる大学をめざします。</p> <p>長野県立大学の使命</p> <p>自ら考え、自ら学び、主体的に行動し、長野県の優れた人々、世界中のイノベーターと出会い、グローバルな視野で未来を切り拓き、地域を創生できるリーダーを育てます。</p> <p>1.リーダー輩出</p> <p>幅広い豊かな教養教育、実践重視の高度な専門教育、寮生活や海外研修などによる全人教育によって、新たな時代を担う様々な資質や能力を備えたリーダーを輩出します。</p> <p>2.地域イノベーション</p> <p>長野県の豊かな自然や長い歴史・伝統を理解し、大切にすることを通して、県の産業・文化・生活を活性化する「知の拠点」となり、地域に開かれた大学、地域とともに歩む大学をめざします。</p> <p>3.グローバル発信</p> <p>健全な批判精神をもち、先進的な研究はもとより、長野県の産業や文化を基盤とした学際的な研究を推進して、新たな知を創出し、その成果を地域に還元するとともに、長野から世界に向けて発信します。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/diploma/">https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/diploma/</a> ）
<p>(概要) ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）</p> <p>グローバルマネジメント学部</p> <p>グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グローバルな英知、多様な価値観や異文化を理解し、交流するための教養と発信する能力</li><li>・豊かな人間性と高い倫理観を持ち、自律的に目標を掲げ、協働して実現するためのリー</li></ul>

ダーシップと実現の道筋を論理的に見極める能力

・未来を切り拓き、グローバルにチャレンジできるための専門的知識とたくましく生きる能力

・グローバルな視点から、現代社会の多様な課題に対して論理的に思考する能力

【グローバル・ビジネスコース】

企業経営の諸課題を的確に把握する専門知識を持ち、その課題解決のためにマネジメントする能力

【企（起）業家コース】

社会や地域について問題意識を持ち、新たな事業機会を発見し、事業創造を企画する能力

【公共経営コース】

地域社会の諸課題を的確に把握するための公共経営に関する専門的知識を持ち、その課題解決のため企画立案する能力

健康発達学部食健康学科

食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

・専門的知識と技術を身につけ、論理的・科学的に考察する力

・人との関わりを大切にし、食を通して人々の健康を支える力

・生涯にわたり、主体的な学びを継続する力

・食文化や食習慣について探究できるグローバルな視野を持ちつつ、地域において食を通じた健康に関する活動を実践する力

・管理栄養士としての倫理観に則り、ミッションを達成できる力

健康発達学部こども学科

こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

・健やかにこどもが育つための課題を明らかにし、子育てや保育について探究できるグローバルな視野を持ちながら、地域や社会の特性を活かした保育を創造する専門的知識と支援力

・保育や教育の場でこどもと保護者を支え、より良い子育て・子育て環境を創造する論理・実践力

・乳幼児期のこどもの特性を理解し、豊かな表現力と感受性をもって乳幼児にふさわしい保育・教育を総合的に計画・展開する力

・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、表現力、コミュニケーション力などの汎用的能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

[nagano.ac.jp/about/outline/policy/curriculum/](https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/curriculum/)

<https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/curriculum/> )

(概要) カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

グローバルマネジメント学部

グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するための同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、総合教育科目において、聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力を育成する英語集中プログラムと幅広い教養を身につける科目によるカリキュラムを編成するとともに、専門教育科目において、専門教育の導入科目として位置付ける科目を必修科目として配置し、また、海外実地研修を配置した「学部共通専門基盤科目」、各コースにおける基盤となる科目を配置した「コース専門基盤科目」、専門的知識の幅を広げる科目を配置した「展開科目」によるカリキュラムを編成します。

なお、専門教育科目においては、同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力について、次の4つのカテゴリーを設定し、それぞれの力を体系的に学修するためのカリキュラム編成とします。

【カテゴリー①】人間性・社会人基礎力

多様な価値観と異文化への理解／交流するための知識と表現する力（発信力）／豊かな人間性と高い倫理観／自律性／協働する協調性／論理的な思考力／数学的な思考力

【カテゴリー②】事業経営力

リーダーシップ／現代社会の課題を発見する力／企業経営の諸問題を把握する力

【カテゴリー③】事業創造力

実現のための道筋を見極める能力／ビジネスするための知識と行動力／事業創造の知識と企画提案力

【カテゴリー④】公共経営力

地域社会の問題認識力／政策立案するための知識と企画力／地域社会のリーダーとしての行動力

健康発達学部食健康学科

食健康学科は、教育目標を実現するための同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、次の特徴を有するカリキュラムを編成します。総合教育科目において、英語力と教養を身につけるとともに、専門教育科目において、栄養士免許、管理栄養士の国家試験受験資格のほか、栄養教諭一種免許状が取得できるよう系統的・段階的な履修ができる編成とします。

- ・自ら課題を発見して、科学的根拠に基づいた望ましい食を提案する力を醸成するための食の現状と課題について広く学ぶ教育プログラム
- ・専門教育科目における専門基礎科目と専門科目を系統的・段階的に配置して基礎と実践の関係性を重視する科目体系
- ・学生が主体的に学ぶ姿勢を培うための演習におけるディスカッションの実施や実験・実習の充実
- ・コミュニケーション能力やリーダーシップを涵養する科目の専門教育科目への配置

- ・論理的・科学的に考察する総合的な能力を高める卒業研究や、基礎的な知識・技術に基づいて実践力を高める総合演習
- ・即戦力となる能力を育成するための多彩な実習内容と時間を確保した臨地実習
- ・聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力を育成するための英語集中プログラムと異文化体験による視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成するための海外プログラム
- ・教員と学生が一体となって、教育・研究に取り組むための少人数教育の実施

#### 健康発達学部こども学科

こども学科は、教育目標を実現するための同学科のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、次の特徴を有するカリキュラムを編成します。総合教育科目において、英語力と教養を身につけるとともに、専門教育科目において、専門性の基礎となる科目を必修とした上で、柔軟かつ多様な思考力、創造力、実践力を育むために全体として科目の選択的履修を重視した編成とします。

- ・保育・幼児教育の基盤となる自然や文化、地域的な特徴などの環境について理解し、そこに成り立つ保育や教育のあり方について広く学ぶ教育プログラム
  - ・聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力を育成するための英語集中プログラムと異文化体験による自国保育の理解を含むグローバルな視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成するための海外プログラム
  - ・保育の基礎的な知識や技能を獲得し、こどもの主体性や表現力を育成する保育を展開するための知識や技能、組織のあり方などについて学ぶ科目体系
- こども、子育ての状況や課題について広く学び、今日的な課題の実践的理解と課題解決力を醸成する科目の充実
- ・学修によって身につけた知識や技能を専門的立場から社会に還元する幼稚園教諭免許状や保育士資格が取得できる養成プログラム
  - ・主体的な学びを通して、課題発見力、情報の収集・分析力、表現力、コミュニケーション力などを育成する双方向による少人数ゼミの充実

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.u-nagano.ac.jp/about/outline/policy/admission/>）

#### （概要）アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

##### グローバルマネジメント学部

グローバルマネジメント学科の教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする、次のような資質・能力を備えた者を求めています。

- ・経営学に関する確かな専門的知識を身につけて、将来、ビジネス・リーダーとしての活躍、社会や地域の課題解決のための事業創造、課題解決のために活動するリーダーとなることを志す者
- ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力とグローバルな視野を身につけ、社会で活躍したい者
- ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、協働して目標を達成すること



を志す者

#### 健康発達学部食健康学科

食健康学科では、管理栄養士の資格取得をめざした教育を行います。その教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする、次のような資質・能力を備えた者を求めています。

- ・人との関わりを大切にし、楽しく豊かな食を創造する者
- ・人々の生命を支える食の営みを、科学的に探究することに情熱のある者
- ・管理栄養士としての専門性を活かして、長野県の健康長寿の発展に貢献したい者
- ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力とグローバルな視野を身につけ、社会で活躍したい者
- ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、協働して目標を達成することを志す者

- ・栄養学の土台となる化学や生物などの基礎学力を身につけている者

#### 健康発達学部こども学科

こども学科の教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする次のような資質・能力を備えた者を求めています。

- ・こどもを愛し、その幸せを実現する意欲と志を持っている者
- ・こどもの健やかな成長・発達を支援する環境や教育について、科学的に探究し、行動する習慣と粘り強さを持っている者
- ・幼稚園教諭免許状、保育士資格を取得し、その専門性を活かして地域に貢献したいという意欲を持っている者
- ・自ら求めて考え、行動し、協働しながら学び、より良い保育を創造する多様な資質を持っている者
- ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力とグローバルな視野を身につけ、社会で活躍したい者
- ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、協働して目標を達成することを志す者

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.u-nagano.ac.jp/media/soshikizu.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					人
グローバルマネジメント学部	－	15人	13人	4人	5人	0人	37人
健康発達学部	－	12人	10人	4人	2人	5人	33人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			53人				人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="http://www.u-nagano.ac.jp/academics/teacher/">http://www.u-nagano.ac.jp/academics/teacher/</a>					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
グローバルマネジメント学部	170人	175人	102.9%	680人	516人	75.9%	0人	0人
健康発達学部	70人	70人	100%	280人	212人	75.7%	0人	0人
合計	240人	245人	102.1%	960人	728人	75.8%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名				
	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）						
学部等名	入学者数	修業年限期間内		留年者数	中途退学者数	その他
		卒業生数				
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)						

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の内容</p> <p>《授業の概要》</p> <p>《授業目標(ねらい・到達目標)》</p> <p>《教授方法》</p> <p>《履修条件》</p> <p>《授業計画》</p> <p>《共通の評価基準》</p> <p>《成績評価方法と基準》</p> <p>《授業外における学習(事前・事後学習等)》</p> <p>《質問や相談への対応》</p> <p>《教科書・テキスト》</p> <p>《参考書・参考資料等》</p> <p>《受講生に望むこと》</p> <p>《その他・特記事項》</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学務課が全教員にシラバス作成を依頼</li> <li>・全教員が学務課にシラバスを提出</li> <li>・シラバス完成</li> </ul> <p>授業計画の作成・公表時期</p>
---

作成時期：1月～3月

公表時期：4月

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

履修案内・学生便覧に、成績評価の基準について示し、履修登録を行った全ての授業について、一定の基準により成績を評価します。

評語	略記号	評点	GP
秀	S	90～100	4
優	A	80～89	3
良	B	70～79	2
可	C	60～69	1
不可	F	0～59	0

(また、卒業要件単位及び進級要件も示し、厳格かつ適正に履修認定し単位授与しています。)

CAP制(履修科目の登録の上限)について、単位の過剰登録を防ぐため、1年間に履修登録できる単位の上限を設けています。各学科の上限は、それぞれ以下のとおりです。

	1年間に履修登録できる単位の上限
グローバルマネジメント学科	45単位
食健康学科	48単位
こども学科	45単位

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

【共通】

グローバルな英知、多様な価値観や異文化を理解し、交流するための教養と発信する能力

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、自律的に目標を掲げ、協働して実現するためのリーダーシップと実現の道筋を論理的に見極める能力

未来を切り拓き、グローバルにチャレンジできるための専門的知識とたくましく生きる能力

グローバルな視点から、現代社会の多様な課題に対して論理的に思考する能力

【グローバル・ビジネスコース】

企業経営の諸課題を的確に把握する専門知識を持ち、その課題解決のためにマネジメントする能力

【企（起）業家コース】

社会や地域について問題意識を持ち、新たな事業機会を発見し、事業創造を企画する能力

【公共経営コース】

地域社会の諸課題を的確に把握するための公共経営に関する専門的知識を持ち、その課題解決のため企画立案する能力

健康発達学部食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・専門的知識と技術を身につけ、論理的・科学的に考察する力
- ・人との関わりを大切にし、食を通して人々の健康を支える力
- ・生涯にわたり、主体的な学びを継続する力
- ・食文化や食習慣について探究できるグローバルな視野を持ちつつ、地域において食を通じた健康に関する活動を実践する力
- ・管理栄養士としての倫理観に則り、ミッションを達成できる力

健康発達学部こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・健やかにこどもが育つための課題を明らかにし、子育てや保育について探究できるグローバルな視野を持ちながら、地域や社会の特性を活かした保育を創造する専門的知識と支援力
- ・保育や教育の場でこどもと保護者を支え、より良い子育て・子育て環境を創造する論理・実践力
- ・乳幼児期のこどもの特性を理解し、豊かな表現力と感受性をもって乳幼児にふさわしい保育・教育を総合的に計画・展開する力
- ・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、表現力、コミュニケーション力などの汎用的能力

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上 限 (任意記載事項)
グローバルマネジメント学部	グローバルマネジメント学科	124 単位	有・無	単位
健康発達学部	食健康学科	126 単位	有・無	単位

	こども学科	124 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)	公表方法 :			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法 :			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.u-nagano.ac.jp/campuslife/campus-guide/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載 事項）
グローバル マネジメント学 部	グローバ ルマネジ メント学 科	535,800円	長野県内の者 141,000円 長野県外の者 423,000円	1年生全員寮費月額 20,500円	
健康発達 学部	食健康学 科	535,800円	長野県内の者 141,000円 長野県外の者 423,000円	1年生全員寮費月額 20,500円 実験・実習費 70,000 円	
	こども学 科	535,800円	長野県内の者 141,000円 長野県外の者 423,000円	1年生全員寮費月 額 20,500円 実験・実習費 40,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）学修の相談：履修登録や授業の相談、成績についてなど教務に関わることをサポートしています。高校時代の学びとは異なる環境の中で、関心のある分野の授業を自主的に選び、積極的に学んでいく姿勢を支援します。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 夏季にインターンシップを実施。70人以上の学生が主に長野県内の企業で就業体験を行った。また、進路選択の指針になるようなキャリア・就職ガイダンスや、業界研究会（県内6社・団体の人事担当者による）を開催、進路に関する視野を広げた。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 心身の健康等に関する不安や悩みごとに対しては、学生サポートセンターに専門スタッフとして保健師や公認心理師・臨床心理士が常駐し、学生一人ひとりの悩みごとに対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="http://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/">http://www.u-nagano.ac.jp/about/kohyo/</a>
---



(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受け

たことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
年間	人
前半期	人
後半期	人

- (3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期

修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
G P A等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験 実技
年		単位時間／単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
		単位時間／単位		単位時間／単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
人	人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
成績評価の基準・方法

(概要)
卒業・進級の認定基準
(概要)
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		



第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
-----------------------------

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

- (1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

- (2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修業 年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
３月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
G P A等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは，日本産業規格A 4とする。